

市長（山田憲昭君）

買い物弱者に対する御質問であります。

松任地区では、平成 22 年にジョイモールが閉店し、昨年 12 月には富士温泉、ことしの 10 月にはナルックス松任店が閉店するなど、周辺住民への影響が懸念されているところであります。

本市では、市街地におけるにぎわい創出のため、本年度、商店街の空き店舗対策の補助対象に新規出店を加え、より出店しやすい環境整備を行ったところであります。

また、公共交通の利便性向上のため、めぐーの運行経路に商業施設等を組み入れているほか、コープいしかわでは、市内のほぼ全域を対象とした宅配サービスが行われているところであります。

加えて、コンビニや大手スーパーによる宅配サービスも一部の地域で開始されており、民間においても、買い物弱者支援のさまざまな取り組みがなされているところであります。

さらには、松任海浜温泉と J R 松任駅を結ぶ送迎を松任海浜温泉の指定管理者におきまして試験的に行うというふうに聞いております。これによりまして、松任海浜温泉の利便が高まりますので、多くの方に御利用いただければと考えております。

あわせて、中心商店街等において新規出店がふえるよう、市の支援策の充実に努めるとともに、民間企業による店舗立地の意向があれば、出店に向けて積極的に働きかけてまいりたいというふうに考えております。

次に、自動車運転に支障を来す高齢者の運転免許証返納に対応する仕組みづくりについてお答えいたします。

本市の支援事業につきましては、平成 23 年度から白山市コミュニティバス 1 年間無料乗車券を、また、平成 27 年度からは北鉄 I C 乗車券 I C a を追加し、本年度より新たに石川県タクシー協会が発行する共通乗車券 2 万円分を追加するなど、制度の拡充を行ってきたところであります。

この結果、本年 11 月末現在で 197 人の方に御利用いただき、昨年度の年間利用者数 133 人を既に上回っております。

この支援事業は、高齢者が加害者となる交通事故の撲滅と、高齢者を抱える各家庭の不安解消などを目的としており、高齢者の皆様が運転免許証を返納することで、公共交通機関の利用が必要になるという生活スタイルの変更を支援させていただくもので、県内における自治体の支援事業の中では、最も手厚いものだと考えております。

今後、買い物弱者となる運転免許証返納者に対する支援策の充実を図るため、

これまで1年間無料乗車券を交付していました白山市コミュニティバスについては、2万円分の回数券に変更したいというふうに考えております。これによりまして、期限を気にすることなく利用していただけるものというふうに思います。

また、来春には、石川県内にJR西日本が導入を予定するICカードICOCAを新たな運転免許証自主返納支援事業の一つとして加えることを検討してまいりたいというふうに考えております。

以上であります。